

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第252号	
事故等種類	沈没	
発生日時	不明（平成21年10月8日11時ごろ、船長は所属漁業協同組合からの連絡で本船が沈没したことを知った。）	
発生場所	神奈川県片瀬漁港 江ノ島灯台から真方位011° 725m付近 （概位 北緯35° 18.37′ 東経139° 48.00′）	
事故等調査の経過	平成21年10月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第七 <sup>しんせい</sup> 新生丸、0.9トン	
船舶番号、船舶所有者等	KN3-13081（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船外機濡損	
事故等の経過	<p>本船は、台風18号の接近に備え、片瀬漁港において、船尾から片瀬漁港西防波堤のビットに、船首から係留杭に直径約20mmのロープ各2本をとり係留した。</p> <p>片瀬漁港付近では、平成21年10月8日、早朝から昼過ぎにかけて、風速10m/s以上の南ないし南西の強風が吹き、本船は、漁港内に打ち寄せた大波を受けて沈没した。</p> <p>本船は、台風が通過したのち引き揚げられて船揚場に上架された。</p>	
気象・海象	<p>平成21年10月8日の気象・海象</p> <p>気象：09時の天気 曇り（横浜地方气象台）</p> <p>風向・風速：発生場所から北北西約3.5kmの辻堂地域気象観測所では、06時40分から13時10分ごろまで、平均風速10m/s以上の南～南西風が吹き、08時20分ごろ最大瞬間風速28.2m/sの南南西風が観測されていた。</p> <p>警報：前日21時から当日19時前ごろまで、神奈川県東部湘南地域には大雨、洪水、暴風及び波浪警報が発表されていた。</p> <p>海象：潮汐 ほぼ満潮時、発生場所付近の海面気圧 約988hPa、波高約7m、波の方向 南西</p> <p>なお、石廊崎沿岸波浪計では、07時00分有義波高10.5m有義波周期14.5sが観測された。</p>	
その他の事項	片瀬漁港は、藤沢市の南東に位置し、相模湾に注ぐ境川の河口を利用した漁港で、港内の水深は3～3.5mである。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、片瀬漁港に係留中、台風の影響で漁港内に打ち寄せた大波を受け、船内に大量の海水が流入し、浮力を失って沈没したものと考えられ</p>

	る。
原因	本事故は、本船が片瀬漁港に係留中、台風の影響で漁港内に打ち寄せた大波を受け、大量の海水が船内に流入したため、浮力を失って沈没したことにより発生したものと考えられる。